



有限会社イセマル SDGs宣言

当社は、「顧客からの信頼」を第一に考え、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2023年1月23日

有限会社イセマル

代表取締役 稲井 久人



重点項目(ターゲット2030)

街の活性化への貢献

土木業者や工務店とも連携して、土地の開発・分譲を行い、街の活性化につなげます。空き家問題等、地域課題の解決にも貢献します。

【主な取り組み】

不動産流通の活性化、空き家問題への対応、地元土木業者・工務店との連携、ライオンズクラブへの参加、防災訓練、清掃活動等の地域行事への積極参加



地域の環境負荷の抑制

土地の開発を行う業者として、地域の環境保全に責任を持ち、造成・開発の際に発生する廃材・土砂・粉塵等を協力会社と連携して、適切に処理します。

【主な取り組み】

取り壊し建物の廃棄物処理・リサイクル推進、造成時に発生した土壌等の処理、協力会社との連携、粉塵発生の抑制、ペーパーレス化、照明のLED化



職場環境の改善

従業員の健康・メンタルヘルスに配慮し、自分に合ったスタイルで仕事ができるよう仕組み・制度を整えます。自己研鑽の希望にも応え、研修の参加も促します。

【主な取り組み】

経営者による勤務実態の把握、長時間労働の是正、従業員の能力に応じた柔軟な勤務体制、外部研修への積極参加、禁煙チャレンジの実施



コーポレートガバナンスの徹底

これからも法令遵守を徹底し、誠実な経営を行います。将来にわたって、当社・顧客・地元社会がWin-Winになるような関係構築に努めます。

【主な取り組み】

経営理念の明文化、議事録等記録の保管、法令遵守の必要性の認識・法令の動向の注視・定期的なチェック機能、取引先の規模によらない誠実な対応



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。